

U=U 知ることから、もう一度。

12月1日は世界エイズデー。

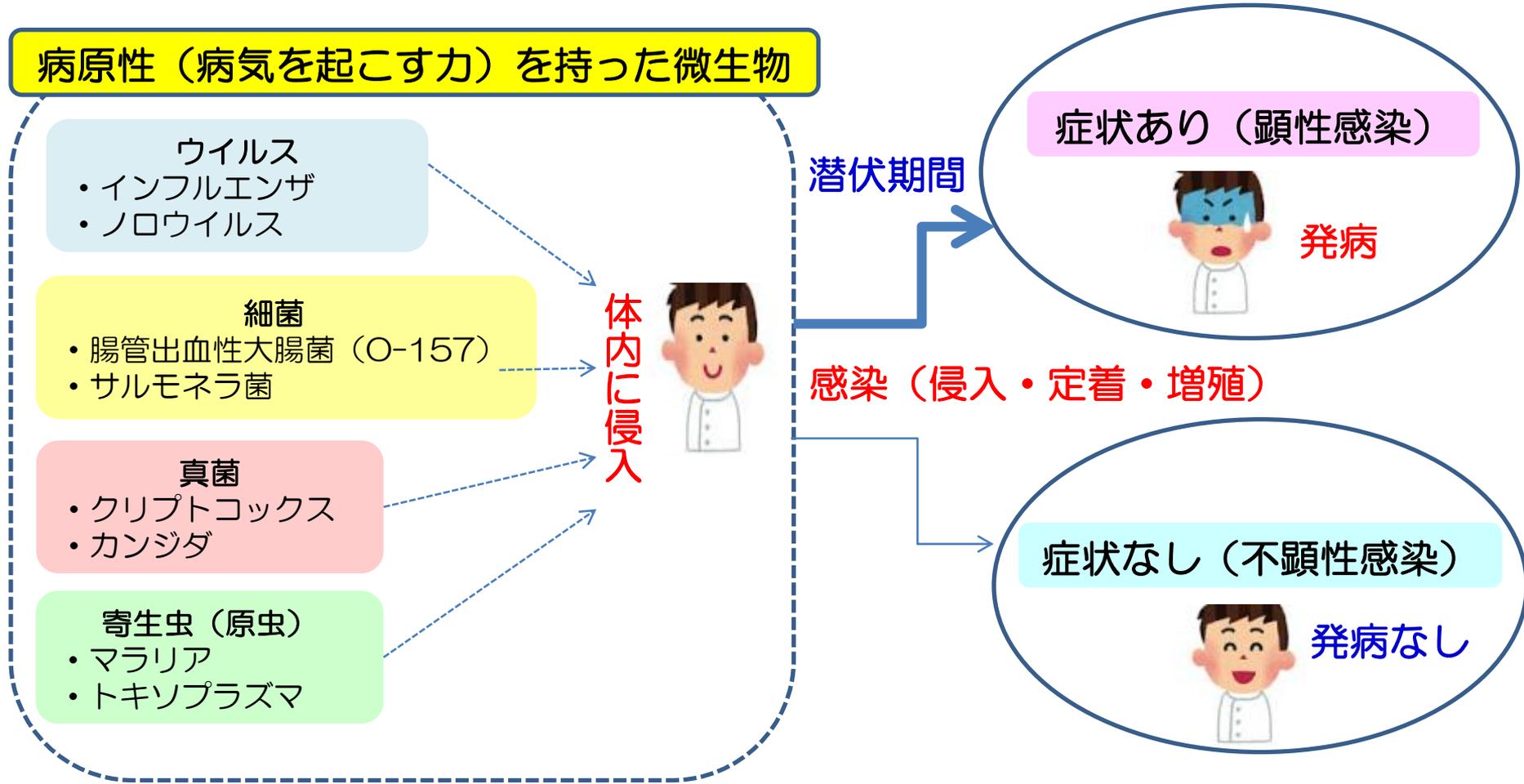
(令和6年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマ)

令和6年度介護保険施設等集団指導

令和6年10月17日(木)

沖縄県保健医療介護部 感染症対策課

# 感染症とは



感染症とは、病原性微生物が、人の体内に侵入することで引き起こす病気です



# 感染源



感染した人



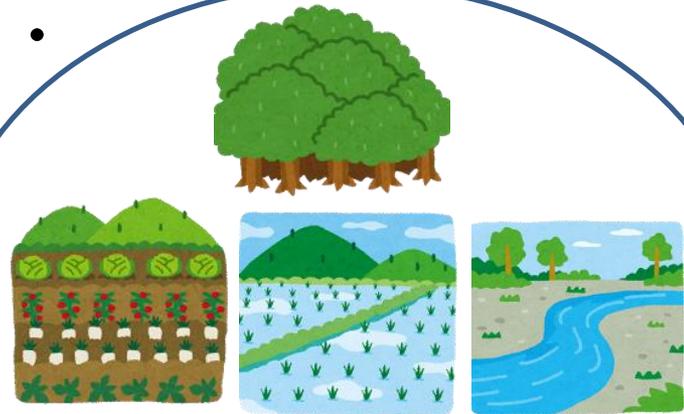
感染動物

- 排泄物
- おう吐物
- 血液など . .



汚染された物体

汚染された食品



環境

# 感染経路

体外にいた病原微生物が体内に入るまでの道のり

## 接触感染

皮膚、キス、性交など



## 飛沫感染

咳やくしゃみで飛沫が飛び散り、他の人がそれを吸って感染



## 空気感染

空気中に浮遊する病原体を吸い込むことにより感染



## 経口感染

病原体を含んだ食品を食べるなど口から感染



## 経皮感染

蚊に刺される、傷から菌が入るなど皮膚から感染



## 咬傷感染

ネズミや狂犬病の犬に噛まれたときに感染



## 血液感染

ウイルスに感染している人の血液への暴露



## 垂直感染

妊娠中や出産時に母から子へ



# 感染予防とは

## 感染経路を絶つ

- **感染源**を持ち込まない
- **感染源**を拡げない
- **感染源**を持ち出さない

手洗い



咳エチケット



汚物の始末



## 抵抗力をつける

- 日頃の健康管理、予防接種・予防内服など



# 高齢者介護施設で注意が必要な感染症

「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」（厚生労働省）  
(2013年3月作成、2019年3月改訂)

- ①入所者および職員にも感染が起こり媒介者となりうる感染症
  - ・ 集団感染を起こす可能性がある感染症  
例) インフルエンザ、感染性胃腸炎、疥癬、結核 等
- ②健康な人に感染を起こすことは少ないが感染抵抗性の低下した人に発生する感染症
  - ・ 高齢者介護施設等では集団感染の可能性がある感染症  
例) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (MRSA)、  
緑膿菌感染症 等
- ③**血液、体液を媒介して感染する感染症**
  - ・ 基本的には集団感染を起こす可能性は少ない感染症  
例) B型肝炎、C型肝炎 等

改訂版からはHIV感染症は削除されています

# HIV/エイズってなに？

**HIV**: Human immunodeficiency virus (ヒト免疫不全ウイルス)

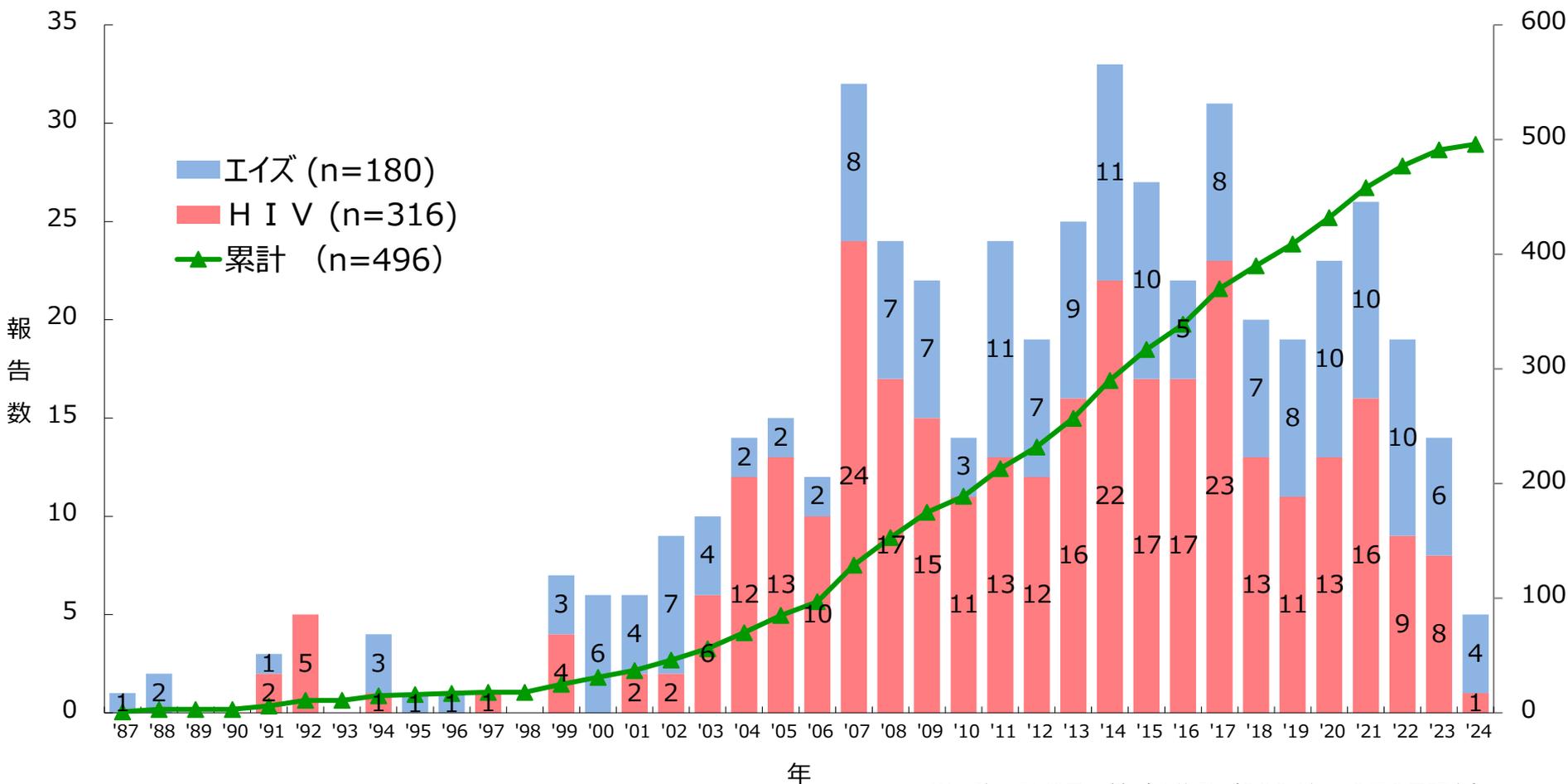
**AIDS**: Acquired immunodeficiency sndrome (後天性免疫不全症候群)

- ① HIV感染後2～3週間すると風邪のような症状が出ることもある
- ② 数年～10年程は何も症状がない時期が続くが、体内ではウイルスが増殖し、体の免疫(病気に抵抗する力)が低下する
- ③ 普通の免疫状態では発症しない様々な病気に罹る他、顕著な食欲低下、下痢、低栄養状態、衰弱がみられる(エイズ発症)

# 沖縄県におけるHIV感染者/エイズ患者の発生状況

・ 2024年8月末までの累計は496件、2007年以後14~33件で推移

※ 国外、県外で感染が分かったHIV感染者/エイズ患者は含まれていない



※以降、診断日に基づく集計（2024年は9月8日現在）

# 沖縄県と全国の発生状況の比較

HIV感染者上位自治体

2020年(令和2年)		2021年(令和3年)		2022年(令和4年)	
自治体	人口10万人対	自治体	人口10万人対	自治体	人口10万人対
東京都	2.18	東京都	2.10	東京都	1.67
大阪府	1.01	沖縄県	1.09	福岡県	0.90
沖縄県	0.89	大阪府	0.93	大阪府	0.83
佐賀県	0.86	愛知県	0.77	高知県	0.74
愛知県	0.77	佐賀県	0.74	愛知県	0.63
山梨県	0.62	福岡県	0.59	沖縄県	0.61
高知県	0.57	香川県	0.53	栃木県	0.58
福岡県	0.57	群馬県	0.52	群馬県	0.47
兵庫県	0.51	神奈川県	0.48	島根県	0.46
三重県	0.45	静岡県	0.47	熊本県	0.41

2020～2022年の3年間人口10万人対の報告数で沖縄県は、HIV感染者数及びエイズ患者数が全国の中でも上位

直近の2022年では全国で  
 ・HIV感染者は、6番目  
 ・エイズ患者は、1番目  
 となっている

エイズ患者上位自治体

2020年(令和2年)		2021年(令和3年)		2022年(令和4年)	
自治体	人口10万人対	自治体	人口10万人対	自治体	人口10万人対
大分県	0.70	沖縄県	0.68	沖縄県	0.61
沖縄県	0.69	福岡県	0.49	熊本県	0.52
東京都	0.57	岐阜県	0.46	東京都	0.38
岐阜県	0.45	東京都	0.45	茨城県	0.35
岡山県	0.42	徳島県	0.42	福岡県	0.33
徳島県	0.41	愛知県	0.40	鹿児島県	0.32
鹿児島県	0.37	佐賀県	0.37	愛知県	0.29
山梨県	0.37	大分県	0.36	広島県	0.25
山口県	0.37	青森県	0.33	埼玉県	0.23
神奈川県	0.35	岡山県	0.32	奈良県	0.23

# 令和6年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマ “U=U 知ることから、もう一度。 12月1日は世界エイズデー。”

「エイズは原因不明で有効な治療法がなく、死に至る病」？

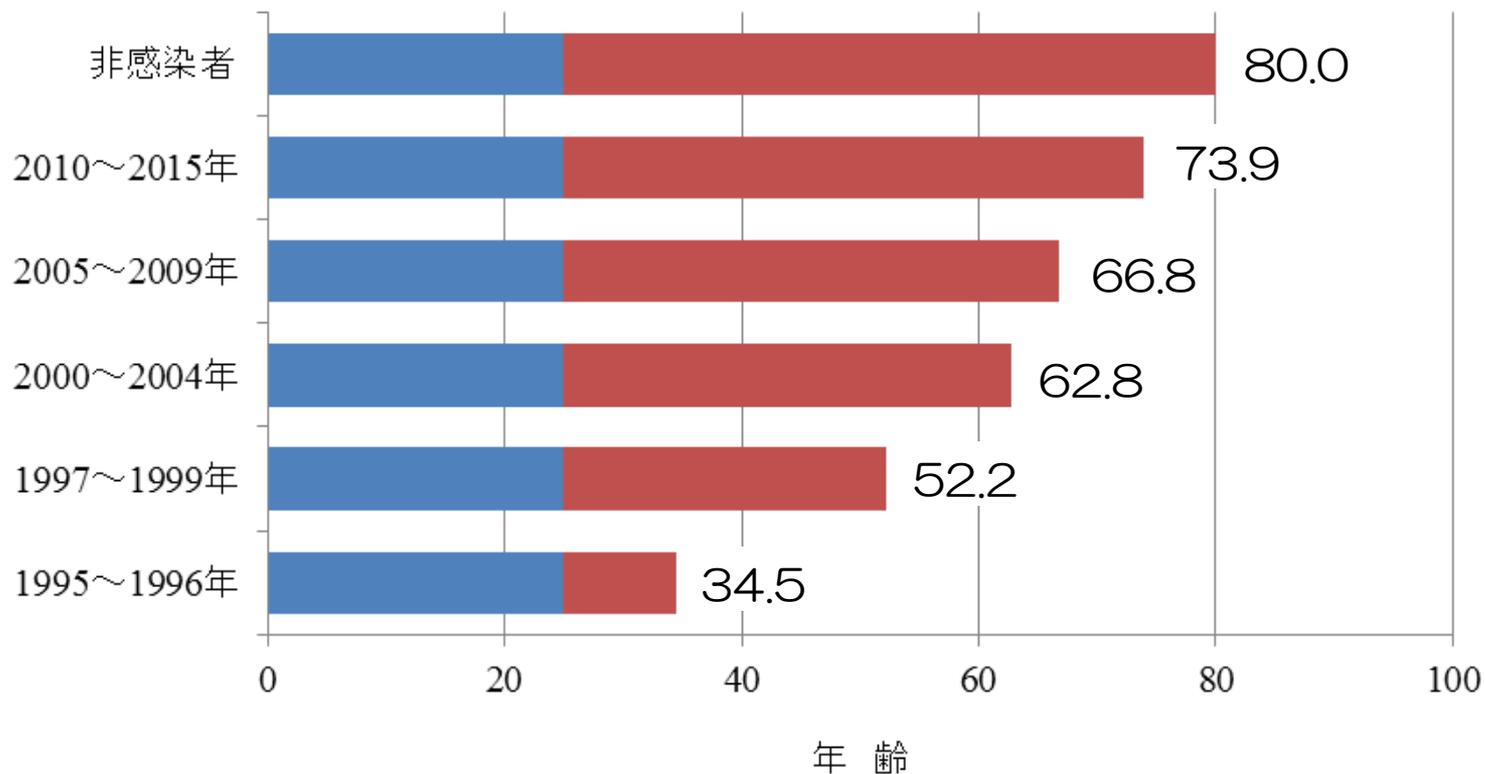
- ⇒ ・ 治療継続でエイズの発症を抑えられる
- ・ 治療継続で体内のウイルス量を検出できないレベルに減らせる（＝簡単にうつらない）
- ・ 治療は1日1回1錠の服薬で済む（公費負担あり）

ようになっています

「U=U（Undetectable=Untransmittable）」とは血液中のウイルス量が検出限界値未満（Undetectable）の状態を最低6か月以上持続できていれば、相手に感染させるリスクはほとんどないこと（Untransmittable）

# 治療の進歩で平均余命が延びている

## 25歳でHIV診断時の平均余命の推計



Lohse et al. Ann Intern Med. 2016;165(10):749-750.

介護福祉サービス等の支援が必要な年代へ

# HIVにはどうやって感染する？

## 1. 性行為による感染

HIVは血液、精液、膣分泌液に多く含まれているため、コンドームなしの無防備な性行為をすると、粘膜や傷口を通して感染する

## 2. 血液による感染

注射器の共有使用、針刺し事故（感染者を刺した針を誤って刺してしまう）など

## 3. 母子感染

妊娠中の胎盤経由、出産時の血液、出産後の母乳

# こんなことではHIVに感染しません



**握手、軽いキス**



**咳、くしゃみ、汗、涙**



**洋式トイレの便座**



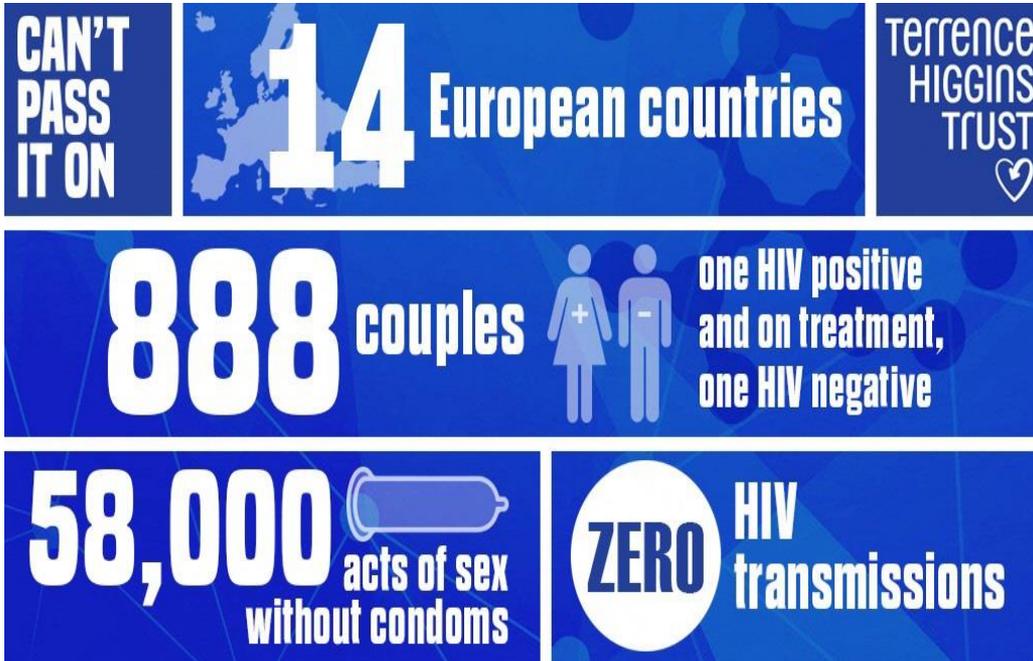
**お風呂やプール**



**蚊に刺される**

血液には直接触  
れない等の一般  
的な予防で十分  
対策可能

# 適切な治療を受けていれば 感染力はありません



ヨーロッパ14か国にて行われた治療を受けているHIV感染者と非感染者のカップル888組の調査

コンドームなしの性交渉でも感染者から非感染者のパートナーへの感染はなかった

PARTNER研究 (Rodger et al. JAMA. 2016;316(2):171-181.)

○治療を継続しウイルス量が抑えられていれば、他者へ感染させる力はとても低くなることがわかっています

# 標準予防策と感染経路別対策

## 標準予防策＝日常的対応

- すべての人（施設利用者、職員など）が何らかの病原体を持っていると仮定して日常的な対応を定めたもの
- すべての血液・排泄物及び粘膜や損傷した皮膚を感染性があるものとみなし、取扱に注意する

例）手洗いの実施、手袋の着用

マスク・ゴーグルの使用

エプロン・ガウンの着用

使用済器具の洗浄・消毒 等

## 感染経路別対策

＝発生時（拡大防止）対応

- 接触感染、飛沫感染、空気感染、血液媒介感染など、発生した（疑われる）感染症の感染経路に合った対策

例）インフルエンザの拡大防止を目的とした発症者の個別隔離 等

⇒ 日常的な感染対策（標準予防策）が適切に実施されていれば HIV感染者に対して、特別な対応は必要ありません！

# 県の取組み

○平成30年よりHIV陽性者への**感染症診療ネットワーク事業**を開始

○**HIV感染予防薬**を地域の代表的な医療機関に配置し、周囲の施設等で感染者の血液曝露事故が発生した際に使用できるように準備をしています。（**県内24医療機関**に配置）

○HIVの正しい知識や標準予防策等の研修会開催、拠点病院と一般診療や施設との調整を行う**コーディネーター**を配置しています。

研修会はWebからでも申込みができます。

<https://forms.gle/kBfxCPUXzJgEckQM6>

# HIV感染者の地域生活支援を目指して…

- 治療の進歩により、エイズによる死亡は劇的に減少し、HIV感染症は慢性疾患の一つとして考えられるようになりました。
- 高齢化に伴い、**介護やサービス**を必要とする患者さんが増えています。
- 治療でHIVが抑えられている患者さんは感染力も抑えられており、一般的な感染症対策がとられている施設において、特別な対応は必要ありません。
- 介護やサービス**が必要になった方の施設入所について、一般の高齢者と同じように受け入れていただけるよう、ご配慮をお願いします。

# HIV感染者等の受け入れに係る介護事業所 を対象にした研修会

目的：HIVに対する正しい知識を理解してもらい、より多くの介護事業所で感染者等の受け入れを進める

日時：令和6年12月18日（水） 14時～16時

場所：沖縄県教職員共済会館 八汐荘 那覇市松尾1-6-1 屋良ホール

方法：現地とWebによるハイブリッド形式

内容：実際にHIV陽性者を受け入れた事業所からの体験談（予定）

医療・介護連携や感染症対策向上加算に係る説明

高齢者介護施設等での感染症発生時の対応 など

詳細：感染症対策課のホームページで案内

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005861/1006396/1006397.html>

